

# 平成 21 年度 自己点検・評価書

平成 22 年 12 月

佐賀大学

保健管理センター

## I. 日常業務である保健管理センター活動について

平成 21 年度における保健管理センターの日常業務に関して、その活動報告および自己評価を行う。

まず、本庄キャンパスにおける日常業務の活動報告および自己評価を行う。

### 1. 定期健康診断：

新入生 1,235 名中 1,232 名 (99.8%) が定期健康診断を受けた。在学生の 2 年生は 1,267 名中 1,134 名 (89.5%)、3 年生は 1,276 名中 1,156 名 (90.6%)、4 年生は 1,277 名中 1,064 名 (83.3%)、それ以降の学生は 413 名中 155 名 (37.5%)、大学院・研究生などは 931 名中 727 名 (78.1%) であり、総計 6,399 名中 5,468 名 (85.5%) であった。

前年度と比較して、本年度は受診率が上昇していた。

### 2. 新入生健康診断：

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、肥満 (BMI 30 以上) が 28 名、やせ (BMI 18 未満) が 89 名、アトピー性皮膚炎が 21 名、アレルギー鼻炎が 18 名、尿蛋白・潜血陽性 9 名、気管支喘息が 7 名、高血圧傾向 6 名、心雑音 4 名、などであった。心電図検査結果では、不完全右脚ブロックが 22 名、ST-T 異常が 20 名、平低 T・陰性 T が 15 名、完全右脚ブロックが 9 名、左軸偏位 9 名、Brugada 型 8 名、WPW 症候群 6 名、心室性期外収縮 4 名、洞性頻脈が 4 名、WPW 症候群 6 名、の順であった。

### 3. 新入生健康調査：

心理面のスクリーニングを行うために、本年度は新入生、卒業予定学生 (学部学生) および大学院生へ「一般健康調査票 (CMHQ)」 「College Mental Health Questionnaire」を配布した。それぞれの結果のまとめを以下に提示する。

新入生：回収率は、1,399 名中 1,380 名 (98.6%) と大幅に増加した (昨年 68.9%)。CMHQ のスコアが 15 点以上 (ストレス過剰の可能性) の学生は 243 名 (17.6%) であった。それらの学生の中で、114 名 (46.9%) に構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI) を施行した。頻度の高い診断としては、大うつ病エピソード 6 名、強迫性障害 5 名、てんかん 3 名、全般性不安障害 2 名、広場恐怖 2 名、社会恐怖 (社会不安性障害) 2 名、その他 (過敏性大腸炎、身体表現性障害、睡眠障害、発達障害) 3 名、などの順であった。

卒業予定学生 (学部学生)：回収率は、1,655 名中 948 名 (57.3%) であった (本年度初めての試み)。CMHQ のスコアが 15 点以上 (ストレス過剰の可能性) の学生は 402 名 (42.4%) であった。それらの学生の中で、65 名 (16.2%) に構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI) を施行した。頻度の高い診断としては、大うつ病エピソード 10 名、強迫性障害 3 名、躁病エピソード 2 名、全般性不安障害 2 名、その他 (過敏性大腸炎、身体表現性障害、睡眠障害、発達障害) 4 名、などの順であった。

大学院生：回収率は、817 名中 519 名 (63.5%) であった (本年度初めての試み)。CMHQ のスコアが 15 点以上 (ストレス過剰の可能性) の学生は 147 名 (28.3%) であった。それらの学生の中で、42 名 (28.6%) に構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI) を施行した。頻度の高い診断としては、大うつ病エピソード 5 名、強迫性障害 3 名、パニック障害 3 名、躁病エピソード

1名、全般性不安障害1名、社会恐怖（社会不安性障害）その他（過敏性大腸炎、身体表現性障害、睡眠障害、発達障害）2名、などの順であった。

全般的にみると、ストレスの度合は、卒業予定者（学部学生）42.4%＞大学院生 28.3%＞新入生 17.6%の順に高かった。

#### 4. 外国人留学生特別健康診断：

前期と後期の対象者はそれぞれ、297名、115名であったが、受診者は前期 243名（81.8%）、後期 93名（80.9%）であった。異常所見または症状のある者について、前期では「やせ 19名」「肥満 8名」、「喘息 3名」「胃炎・十二指腸潰瘍 2名」「高血圧傾向 2名」「膀胱炎 2名」「甲状腺腫 1名」「高脂血症 1名」「貧血 1名」「陳旧性肺結核 0名」「糖尿病 0名」「てんかん 0名」などであり、いずれも生活習慣に関するものであった。後期でも、同様の傾向が認められた。

血液検査で異常を示す者では、前期では肝機能障害（脂肪肝）、HDL コレステロール低値、高脂血症、B型肝炎ウイルス陽性、高尿酸血症、貧血、後期では高脂血症、HDL コレステロール低値、肝機能障害（脂肪肝）、B型肝炎ウイルス陽性、貧血、高尿酸血症の順に多かった。

心電図では、前期では「平低 T波 4名」「不完全右脚ブロック 4名」など、後期では「R波増高 1名」「心室性期外収縮 1名」などがみられた。

前期に異常が認められた留学生のフォローは 20名中、改善が 7名、不変が 8名、悪化 5名であった。

#### 5. 外国人留学生保健管理センター使用状況

留学生 323名中 89名が保健管理センターを利用していた。利用者の延数は 306名であった。利用の目的は、内科系疾患としては、呼吸器症状（風邪様症状）、内分泌・代謝異常症状が多く、外科系疾患としては、擦過傷・切傷、骨・関節筋肉痛などが多かった。専門の医療機関を紹介したのは、306名中 89名であった。

#### 6. スポーツ学生健康診断

対象者 893名中 549名（61.5%）の受診者があった。異常所見としては心電図検査で 8名が該当したが、経過観察とした。医療機関に通院中の学生が 32名いたが、スポーツを行う上で、大きな支障が生じることはなかった。

#### 7. 健康相談者数

内科系では 405名（延数 536名）、外科系では 98名（延数 111名）、心理系では 182名（延数 809名）、その他 164名（延数 204名）、総計 849名（延数 1,660名）の健康相談があった。医療機関の紹介を行った件数は 579名であった。

#### 8. 健康診断証明書発行状況

1年間を通じて、3,947通の健康診断証明書を発行した。発行件数が多い月は、3月（1,275件）、2月（794件）、6月（710件）、7月（359件）、の順であった。

#### 9. 麻疹抗体検査実施状況

麻疹の流行に伴う大学等の教育実習生の対する指導に基づき、当大学においても感染拡大・防止のた

めの教育実習生等を対象に麻疹の罹患歴・麻疹ワクチン接種状況の問診と抗体検査を実施することとした。第1回の実施では284名が検査を受け、第2回の実施では38名が検査を受け、第3回の実施では3名が受けた。抗体値が低い学生に対しては、個別に医療機関を紹介し、ワクチン接種を勧奨した。

#### 10. 保健管理センター利用状況

保健管理センターの利用件数は7,135件（学生6,125件・職員1,010件）であった。この利用件数は従来の結果より、1,000件以上増加していた。その理由は新型インフルエンザの流行に伴う連絡等が含まれていた。本庄地区の学生においては、新型インフルエンザの罹患報告者数は平成21年9月から平成22年1月末までに、582名であった。なお、この利用件数の結果及び増加は、本大学の保健管理センターが学生および職員の保健管理および治療において十分な役割を果たしていると考えられる。

次に、鍋島キャンパスにおける日常業務の活動報告および自己評価を行う。

#### 【現状分析】

##### 1. 定期健康診断

新入生160名中名（100.0%）が定期健康診断を受けた。在学生の医学科全体としては582名中565名（97.1%）、看護学科は263名中262名（99.6%）、学部学生の総計は845名中827名（97.8%）であった。

##### 2. 新入生健康診断

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、アレルギー体質が10名、やせ（BMI18%未満）が14名などであった。心電図検査結果では、ST-T異常が2名、その他上室性頻拍、頻脈、徐脈、WPWなど1名ずつ認められた。

##### 3. 健康相談者数

内科系では240名（延数249名）、外科系では54名（延数54名）、心理系では21名（延数21名）、その他54名（延数54名）、総計369名（延数378名）の健康相談があった。医療機関の紹介を行った件数は124名であった。

今年度も、カウンセラーの協力を得、新入生だけでなく在学生のスクリーニング検査を実施した。その結果、継続カウンセリングへ移行するなどし、2名病院紹介を行った。今後は呼び出しを行っても面談に来ない学生をどのようにカウンセリングに繋げていくかが課題である。

##### 4. 健康診断証明書発行状況

1年間を通じて、565通の健康診断証明書を発行した。発行件数が多い月は、11月（191件）、1月（80件）の順であった。11月は免疫の記録を卒業生全員に配布。1月は就職先に免疫の記録提出するための診断書発行件数が多い。また、今年度はインフルエンザ発生により、欠席届に添付するための診断書の発行が増加した。

##### 5. 保健管理センター利用状況

保健管理センターの利用件数は8060件（学生4326件・職員3734件）であった。今年度は、7月下旬より、新型インフルエンザの発生が認められた。7月以降の新型インフルエンザ発

生報告は104人であった。特に病棟実習の学生の対応については、感染制御部と相談し対応を統一、院内感染の防止に努めた。

小児感染症（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）の検査については、医学部学生は100%実施している。大学院生については、周知を行ったが、新入学の検査希望者は、13名で、ワクチン接種は6名であった。

独立行政法人化に伴い職員の健康に関する業務も増加している。H18年9月より職員に対する産業カウンセラーによるスクリーニング面接を計画実施している。スクリーニングだけで終了する場合もあるが、配置転換後の職員や新規採用者（看護部職員を除く）へのスクリーニングは一定の効果を挙げていると思われる。

産業保健師により、4月から1月まで101名の職員に健康指導を行い、職員の健康増進に務めているが、この効果については経過を追ってみていく。

## 6. その他

H21年度はH20年度に比較し社会的問題行動をとる学生はいなかった。しかし、人間関係の未熟さによるトラブルや、ひきこもり学生などが数名認められ、学生サービス課、チューターとの連携を強化し、学生の対応を行っていく必要があった。

新型インフルエンザの流行により、鍋島地区で学生を対象にワクチン接種を行ったが、流行期を過ぎていたため、接種希望者が少なく学内で接種を受けた学生は、326名であった。約6割の学生が未接種・未感染のため、新年度スタート後の流行には十分注意して行く必要がある。

以上をまとめると、保健管理センターの利用状況に関しては、本庄および鍋島キャンパスのいずれも十分に学生および教職員が利用しており、また定期健康診断などの健診業務を通じて、大学における健康管理および安全管理に十分寄与していると思われる。

## Ⅱ－Ⅰ 教育に関する状況と自己評価

保健管理センターの教員3名はそれぞれ講義および大学院生をもち、教育においても大学において貢献している。その具体的な内容を以下に示す。

本庄キャンパスに勤務する佐藤と木道については以下の通りである。

講義：学内：健康科学・前期（佐藤）、健康科学・後期（木道）

マラソン学（心電図の読み方等）（佐藤）、理工学部（機能物質科学）フレッシュマンセミナー（佐藤）

医学部・精神医学（コンサルテーション・リエゾン精神医学）（佐藤）、医学部医科学専攻・修士課程・精神心理学特論（佐藤）、医学部医科学専攻・修士課程・健康スポーツ学特論「ストレスと運動」（佐藤）  
同上「循環器疾患と運動」（木道）、漢方医学（メンタルヘルスと漢方薬）（佐藤）、脳とこころ（3回の講義）（佐藤）

学外：西九州大学大学院・精神保健福祉特論（佐藤、コンソーシアム）、放送大学（専門科目：心理と教育 | こころアレルギー）（佐藤、コンソーシアム）

大学院生等指導（佐藤）：

大学院医学系研究科修士課程医科学専攻1年生	伊藤奈々
大学院医学系研究科修士課程医科学専攻2年生	岩田雅予
大学院医学系研究科博士課程医科学専攻2年生	楊 春燕
大学院医学系研究科博士課程医科学専攻3年生	郭 偉
大学院医学系研究科博士課程医科学専攻4年生	岩本利恵
大学院医学系研究科博士課程医科学専攻4年生	永松美雪
コンソーシアム：放送大学4年生	池田清子
放送大学4年生	小森康代

鍋島キャンパスに勤務する尾崎は以下の通りである。

実習の安全管理：感染予防を中心に。医学科4年 臨床入門。2010. 1. 25, 臨床講堂 3113.

内分泌性高血圧 医学科3年 Unit4 PBL 講義。2010. 2. 8

主題科目 ニュートリション&フィットネス講義（後期）。医学部1年。2010. 1. 27.

主題科目 ニュートリション&フィットネス講義。医学部1年。2010. 4. 21 & 2010. 11. 10

医学生健康管理。医学科3年 地域医療 Unit 1 PBL 講義。2010. 4. 15.

PBL チューター、Unit2 消化器 医学科3年 2010. 5. 25&28, 2010. 6. 8&11

大学院生等指導：

大学院医学系研究科博士課程医科学専攻2年 夏 京合

以上から、健康科学および内科、精神科領域の講義を担当し、さらには大学院生の指導を担当し、卒業生を輩出していることから、教育に関しても、十分な貢献を果たしていると考えている。

## Ⅲ－Ⅰ 研究に関する状況と自己評価

研究に関しては、本来の業務に追われて、十分な研究が行われているとはいえないものの、研究報告および学会発表は、ある程度の業績を提出していると自負している。以下に、研究報告および学会発表の内容を提示する。

### 本庄キャンパス（佐藤・木道）：

#### 〔著書・総説〕

1. 佐藤 武：自律訓練法. 専門医をめざす人の精神医学 第3版、医学書院（印刷中）
2. 佐藤 武、保坂 隆：2. 精神疾患に起因する身体症状・身体疾患. 精神疾患エクスペール3身体合併症の看護（第2版）. 中山書店、東京、pp.21-37, 2009.
3. 佐藤 武：V. うつ・不安と physical comorbidity 6. 呼吸器疾患. 脳とこころのプライマリ・ケア（監修：日野原重明、宮岡 等）. (株) シナジー出版事業部、東京（印刷中）
4. 佐藤 武：嗜癖行動障害 5. インターネット依存（携帯電話依存）. 脳とこころのプライマリ・ケア（監修：日野原重明、宮岡 等）. (株) シナジー出版事業部、東京（印刷中）
5. 佐藤 武：パーソナリティ障害～ナルシズム、こころの発達障害、こころアレルギーの関係～. CAMPUS HEALTH（印刷中）
6. 佐藤 武、郭 偉、伊藤奈々：慢性疼痛とうつ病. 総合臨床、2010（印刷中）

#### 〔研究・症例報告〕

1. Guo W, Piao LH, Itou N, Sato T: Preventive Effects of Metabolic Syndrome by Aerobics Exercise. Proceedings of the 5th International Conference of Information. pp.423-426, 2009.
2. Nagata H, Tanaka E, Takefu M, Sato T, Nakano M, Morimoto M, Fukushima A, Akaike N: Effects of Lower Limb and Dorsolumbar Massages on Edema in Postpartum Women. International Journal of Biomedical Soft Computing and Human Sciences 14(1): 109-115, 2009.
3. Yan C, Sato T.: Comparative study of Internet Addiction among Japanese and Chinese College Students. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.102-109, 2009.
4. 福島雅子・木道圭子・永渕久子・佐藤 武：急性精神病を発病し緊急入院させた留学生について. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.31-34, 2009.
5. 安宅 勝弘、影山 任佐、齋藤 憲司、佐藤 武、 粥川 裕平：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査－平成18年度調査結果および平成14～18年度5年間のデータから－. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.86-94, 2009.
6. 木村靖夫、大木和子、中川直樹、江崎利昭、佐藤 武：自体重レジスタンストレーニングが中高齢女性の身体組成、骨状態およびメンタルヘルスに及ぼす影響. 佐賀大学文化教育学部研究論文集 13:227-235, 2009.
7. 佐藤 武、木道圭子、福島雅子、永渕久子：佐賀大学保健管理センター（本庄キャンパス）ビフォー&アフター. 第39回九州地区大学保健管理研究協議会報告書 pp.120-123, 2009.
8. 兒玉 幸子、佐藤 武、新地 浩一：大学新入生のメンタルヘルスとその関連要因. CAMPUS HEALTH

(印刷中)

9. Yang C, Miyata M, Sato T: Why are college students apt to become Internet Addiction? A cross-national study in Japan and China. 第31回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 (in press)
10. Yamawaki N, Sato T: Strategies for changing attitudes toward mental health services - A cross-cultural study -. 第31回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 (in press)
11. Nagamatsu M, Sato T: The Effects of Individual Counseling for High-Risk Students in Conjunction with Group Education to Delay Sexual Activity among Japanese Junior High School Students. Journal of the Association of Nurses in AIDS Care (in submission)
12. Nagamatsu M, Sato T: Factors Influencing the Attitude toward Acceptance of Sexual Behavior among Early Teenagers in Japan. J Adolescent Health (in submission)
13. Nagamatsu M, Sato T: Effect of HIV Prevention Programs Focused on Parent-Adolescent Communication in Japan. AIDS Reseach and Treatment (in submission)

#### 〔その他〕

1. 佐藤 武:フィット+クリニック 片頭痛.佐賀新聞フィット(4月17日号).Vol. 132, p. 11, 2009.
2. 佐藤 武:大切な睡眠でも眠るってどんなこと?佐賀新聞フィット(7月17日号). Vol. 138, p. 2, 2009.
3. 佐藤 武:日本で韓国ドラマがウケる理由. 佐賀新聞フィットプラス(7月24日号). Vol. 12, p3, 2009.
4. 佐藤 武:書評「スポーツ精神医学」. 総合病院精神医学(印刷中)
5. 佐藤 武:非社会的な行動. 佐賀新聞フィット(2月5日号) Vol 150, p9, 2010.

#### 〔学会発表〕

1. 郭 偉、佐藤 武、野出孝一:エアロビクスによるメタボリックシンドロームの予防効果ー血中の高分子量アディポネクチンを含む身体健康度と生活の質の変化ー. 第2回日本肥満症治療学会学術集会. 平成21年7月10日~11日、東京.
2. 安宅勝弘、佐藤 武、影山任佐: . 全国大学メンタルヘルス研究会の沿革と活動、将来的展望. 第105回日本精神神経学会学術総会、平成21年8月21日~23日、神戸.
3. 佐藤 武、木道圭子、福島雅子、永渕久子:佐賀大学保健管理センター(本庄キャンパス)ビフォー&アフター. 第39回九州地区大学保健管理研究協議会、平成21年8月19日~21日、熊本大学.
4. Guo W, Piao LH, Ito N, Sato T: Preventive Effects of Metabolic Syndrome by Aerobics Exercise. The 5th International Conference of Information. November 6-9, 2009, Kyoto University.
5. Yamawaki N, Sato T: Strategies for changing attitudes toward mental health services - A cross-cultural study -. 第31回全国大学メンタルヘルス研究会、平成22年1月21-22日、東京.
6. Yang C, Miyata M, Sato T: Why are college students apt to become Internet Addiction? A cross-national study in Japan and Chine. 第31回全国大学メンタルヘルス研究会、平成22年1月21-22日、東京.

## その他 (座長・司会など)

1. 佐藤 武: (司会) 修学・就労・保健の3つの支援の連携によりキャンパスライフが安定した一症例。  
第31回全国大学メンタルヘルス研究会、日本学生支援機構、平成22年1月21日～22日、東京。

## 鍋島キャンパス (尾崎):

### [著書]

1. 尾崎岩太, 夏京合, 浜島弘史, 岩根紳治, 松橋幸子, 河口康典, 江口有一郎, 水田敏彦. Vitamin K2 のNF- $\kappa$ B抑制におけるProtein kinase C(PKC)の役割. 第12回Vitamin K & Aging研究会記録集 p155-160. エーザイ株式会社, 東京 2009.

### [原著論文]

1. Eguchi Y, Mizuta T, Ishibashi E, Kitajima Y, Oza N, Nakashita S, Iwane S, Takahashi H, Akiyama T, Ario K, Kawaguchi Y, Yasutake T, Iwakiri R, Ozaki I, Hisatomi A, Eguchi T, Ono N, Fujimoto K. Hepatitis C virus infection enhances insulin resistance induced by visceral fat accumulation. *Liver Int.* 2009, 29(2):213-20.
2. Hamajima H, Ozaki I, Zhang H, Iwane S, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsushashi S, Mizuta T, Matsuzaki K, Fujimoto K. Modulation of the transforming growth factor- $\beta$ 1-induced Smad phosphorylation by the extracellular matrix receptor  $\alpha$ 1 integrin. *Int. J. Oncol.* 2009; 35(6): 1441-7.
3. Ide Y, Zhang H, Hamajima H, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Mizuta T, Yamamoto K, Fujimoto K, Ozaki I. Inhibition of matrix metalloproteinase expression by menatetrenone, a vitamin K2 analogue. *Oncol. Rep.* 2009; 22(3): 509-604.
4. Imaizumi T, Higaki Y, Hara M, Sakamoto T, Horita M, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S, Kuso S, and Tanaka K. Interaction between cytochrome P4501A2 genetic polymorphism and cigarette smoking on the risk of hepatocellular carcinoma in a Japanese population. *Carcinogenesis* 2009; 30(10): 1729-34.
5. Kawaguchi Y, Mizuta T, Oza N, Takahashi H, Ario K, Yoshimura T, Eguchi Y, Ozaki I, Hisatomi A, Fujimoto K. Eradication of hepatitis C virus by interferon improves whole-body insulin resistance and hyperinsulinaemia in patients with chronic hepatitis C. *Liver Int.* 2009; 29(6): 871-877.
6. Oza N, Eguchi Y, Mizuta T, Ishibashi E, Kitajima Y, Horie H, Ushirogawa M, Tsuzura T, Nakashita S, Takahashi H, Kawaguchi Y, Oda Y, Iwakiri R, Ozaki I, Eguchi T, Ono N, Fujimoto K. A pilot trial of body weight reduction for nonalcoholic fatty liver disease with a home-based lifestyle modification intervention delivered in collaboration with interdisciplinary medical staff. *J.*

Gastroenterol. 2009; 44(12): 1203-8.

7. 尾崎岩太, 川添聖治, 中山利浩, 古賀満明, 前山豊明, 古賀義孝, 江崎武春, 寺山理津子, 古賀小百合, 中山稔, 平井賢治, 堺隆弘, 山本匡介, 水田敏彦. 佐賀県におけるC型肝炎ウイルス抗体陽性者の推移: 1992年から2006年までの肝検診の結果と今後の動向予測. 肝臓 2009; 50(3): 122-131..

[学会発表]

1. Akiyama T, Mizuta T, Kawazoe S, Takahashi H, Otsuka T, Eguchi Y, Kawaguchi Y, Keisuke Ario K, Ozaki I. Body mass index influences onset age and prognosis of hepatocellular in patients with chronichapatitis C. ILCA' s Third Annual Conference 2009.9.4-6 Milano, Italy. Books of abstract: p39 (P-083)

2. 江口有一郎, 水田敏彦, 藤本一眞, 石橋絵理子, 北島陽一郎, 尾崎岩太, 小野尚文, 江口尚久. 非アルコール性脂肪性肝疾患における血清トランスアミナーゼ値の意義—メタボリックシンドロームの動脈硬化危険因子との関連—. 第13回日本肝臓学会大会 2009.10.14-15 京都. 肝臓 50 Supplement(2):A534(肝P-202), 2009

3. 江口有一郎, 水田敏彦, 藤本一眞, 石橋絵理子, 中下俊哉, 尾崎岩太, 小野尚文, 江口尚久. 減量による非アルコール性脂肪性肝疾患の肝脂肪化の改善は血清アミノトランスフェラーゼ低下率で予測が可能である. 第95回日本消化器病学会総会 2009.5.7-5.9 札幌. 日本消化器病学会雑誌 106 Supplement: A208 (233), 2009.

4. 浜島弘史, 岩根紳治, 夏京合, 河口康典, 江口有一郎, 水田敏彦, 藤本一眞, 尾崎岩太, 松橋幸子. がん抑制タンパク質 Programmed cell death 4 (PDCD4) のPKCによる調節. 第32回日本分子生物学会年会 2009.12.9-12 横浜. プログラム p723(3P-0490)

5. Hamajima H, Ozaki I, Iwane S, Takahashi H, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsubishi S, Mizuta T, Fujimoto K. Modulation of transforming growth factor-beta1-induced Smad phosphorylation by extracellular matrix receptor beta1-integrin. ILCA' s Third Annual Conference 2009.9.4-6 Milano, Italy. Books of abstract: p29 (P-042)

6. 井上周, 大座紀子, 桑代卓也, 大枝敏, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太, 水田敏彦. 若年者に発症し急速に増悪した多発肝腫瘍の一例. 第94回日本消化器病学会九州支部例会(研72) 2009.11.27-28 熊本

7. Ishibashi E, Eguchi Y, Mizuta T, Kitajima Y, Oza N, Nakashita S, Matsunobu A, Takahashi H, Kawaguchi Y, Ozaki I, Iwakiri R, Eguchi T, Ono N, Fujimoto K. Serum triglyceride level as a metabolic risk factor was independently associated with serum aminotransferase level in nonalcoholic fatty liver disease patients with central obesity. 44th Annual Meeting of the European Association for the Study of the Liver 2009.4.22-26 Copenhagen, Denmark Journal of

Hepatology 50(supplement No.1): S362 (p-998), 2009

8. Ishibashi E, Eguchi Y, Mizuta T, Kitajima Y, Oza N, Nakashita S, Matsunobu A, Takahashi H, Kawaguchi Y, Ozaki I, Iwakiri R, Eguchi T, Ono N, Fujimoto K. The change in serum aminotransferase level achieved by weight reduction predicts the improvement of liver steatosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease. 44th Annual Meeting of the European Association for the Study of the Liver 2009. 4. 22-26 Copenhagen, Denmark Journal of Hepatology 50(supplement No.1): S360 (p-992), 2009.

9. 磯田広史, 江口有一郎, 水田敏彦, 石橋絵理子, 北島陽一郎, 大座紀子, 高橋宏和, 尾崎岩太, 江口尚久, 藤本一眞. 非アルコール性脂肪性肝疾患における血清 ALT 値の意義—メタボリック症候群との関連—. 第 30 回日本肥満学会 2009. 10. 9-10 浜松. 肥満研究 15 Supplement:186(0-072), 2009.

10. 岩崎めぐみ, 高橋宏和, 岡田竜一郎, 大座紀子, 桑代卓也, 河口康典, 江口有一郎, 水田敏彦, 尾崎岩太, 藤本一眞. バルプロ酸により高アンモニア血症を認めた C 型慢性肝炎の 1 例. 第 93 回日本消化器病学会九州支部例会 (研 30) 2009. 6. 19-20 福岡

11. 河口康典, 水田敏彦, 福山恵, 松田野利子, 桑代卓也, 大座紀子, 高橋宏和, 江口有一郎, 尾崎岩太, 小野尚文, 藤本一眞. インスリン抵抗性を示す C 型慢性肝炎患者に対する生活習慣への介入がペグインターフェロン/リバビリン併用療法の効果に与えるインパクト. 第 13 回日本肝臓学会大会 2009. 10. 14-15 京都. 肝臓 50 Supplement (2):A535(肝 P-127), 2009

12. Kawazoe S, Nakashita T, Akiyama T, Ario K, Otsuka T, Ozaki I, Mizuta T. Long-term results of multiple needle insertion radiofrequency thermal ablation technique for large hepatocellular carcinoma. ILCA' s Third Annual Conference 2009. 9. 4-6 Milano, Italy. Books of abstract: p57 (P-158)

13. 北島陽一郎, 江口有一郎, 磯田広史, 石橋絵理子, 堀江弘子, 後川美智子, 尾崎岩太, 水田敏彦, 江口尚久, 藤本一眞. 非アルコール性脂肪性肝疾患のインスリン抵抗性改善には内臓脂肪減量と筋脂肪化軽減が重要である. 第 30 回日本肥満学会 2009. 10. 9-10 浜松. 肥満研究 15 Supplement:159(0-017), 2009

14. 桑代卓也, 水田敏彦, 尾崎岩太, 江口有一郎, 河口康典, 高橋宏和, 大座紀子. C 型慢性肝炎患者の QOL に寄与する因子の検討. 第 95 回日本消化器病学会総会 2009. 5. 7-5. 9 札幌. 日本消化器病学会雑誌 106 Supplement: A279 (520), 2009

15. 桑代卓也, 高橋宏和, 大枝敏, 大座紀子, 秋山巧, 有尾啓介, 大塚大河, 河口康典, 江口有一郎, 川添聖治, 水田敏彦, 尾崎岩太, 藤本一眞. 高齢者肝細胞癌におけるラジオ波焼灼術後生存に寄与する因子の検討. 第 13 回日本肝臓学会大会 2009. 10. 14-15 京都. 肝臓 50 Supplement (2):A571(肝 P-272), 2009

16. 三根正, 大枝敏, 桑代卓也, 大座紀子, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太, 水田敏彦. アルコール性肝硬変を背景とした肝細胞癌の1例. 第286回日本内科学会九州地方会(消化器2. 127) 2009. 8. 22 鹿児島
17. 水田敏彦, 江口有一郎, 石橋絵理子, 尾崎岩太, 吉村達, 久富昭孝. 非アルコール性脂肪性肝疾患における血清トランスアミナーゼ値の意義—メタボリックシンドロームとの関連の検討—. 第52回日本糖尿病学会年次学術集会 2009. 5. 21-24 東京. 糖尿病 52 Supplement 1: S-283 (III-P-249), 2009
18. 水田敏彦, 河口康典, 高橋宏和, 岩根紳治, 有尾啓介, 川副広明, 江口有一郎, 安武努, 福島範子, 川添聖治, 尾崎岩太. リバビリルン・インターフェロン併用療法によるC型慢性肝炎治療における溶血性貧血のビタミンEによる抑制. 第12回 Vitamin E Update Forum 2009. 8. 31 東京
19. 岡田倫明, 大座紀子, 高橋宏和, 中馬隆広, 桑代卓也, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太, 水田敏彦, 藤本一真. Plummer-Vinson 症候群に合併した原発性胆汁性肝硬変の一例. 第38回日本肝臓学会西部会 2009. 12. 4-5 米子. 肝臓 50: suppl. A806 (P-113), 2009
20. 岡田倫明, 高橋宏和, 桑代卓也, 大枝敏, 大座紀子, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太, 水田敏彦. C型慢性肝炎患者のインスリン抵抗性に性差が与える影響. 第5回消化器病における性差医学・医療研究会 2009. 7. 25 大阪
21. 大枝敏, 河口康典, 桑代卓也, 大座紀子, 高橋宏和, 岩根紳治, 江口有一郎, 尾崎岩太, 水田敏彦. 自己免疫性肝炎発症を契機に肝不全を呈した3症例の検討. 第38回日本肝臓学会西部会 2009. 12. 4-5 米子. 肝臓 50: suppl. A802 (P-105), 2009
22. Oza N, Eguchi Y, Ishibashi E, Kitajima Y, Horie H, Ushirogawa M, Nakashita S, Takahashi H, Isoda H, Kawaguchi Y, Ozaki I, Ono N, Iwakiri R, Mizuta T, Eguchi T, Fujimoto K. A prospective pilot trial of body weight reduction for nonalcoholic fatty liver disease with a home-based lifestyle modification intervention. EASL Special Conference-NAFLD/NASH and Related Metabolic Disease- 2009. 9. 24-26 Bologna, Italy. Poster:257
23. 大座紀子, 江口有一郎, 石橋絵理子, 北島陽一郎, 中下俊哉, 松延亜紀, 高橋宏和, 河口康典, 水田敏彦, 尾崎岩太, 小野尚文, 江口尚久, 藤本一真. 非アルコール性脂肪性肝疾患に対する減量治療の継続を困難にする要因の検討. 第95回日本消化器病学会総会 2009. 5. 7-5. 9 札幌. 日本消化器病学会雑誌 106 Supplement: A209 (237), 2009
24. 大座紀子, 水田敏彦, 桑代卓也, 高橋宏和, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太. アイェーコール®動注と5-FU全身投与併用が奏功した高度進行肝細胞癌の1例. 第45回日本肝臓研究会 2009. 7. 3-4 福岡. プログラム・抄録集 P-301 (385)

25. 尾崎岩太, 浜島弘史, 夏京合, 岩根紳治, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦. 肝細胞癌におけるがん抑制遺伝子 PDCD4 の protein kinase C (PKC) による発現調節. 第 5 回広島肝臓プロジェクト研究センターシンポジウム 2009. 7. 24 広島
26. 尾崎岩太, 平井賢治, 水田敏彦. 佐賀県における肝炎診療ネットワークとインターフェロン治療助成状況. 第 13 回日本肝臓学会大会 2009. 10. 14-15 京都. 肝臓 50 Supplement (2): A486 (肝 W7-2), 2009.
27. 尾崎岩太, 夏京合, 浜島弘史, 岩根紳治, 松橋幸子, 河口康典, 江口有一郎, 水田敏彦. 肝癌細胞における Vitamin K2 による NF- $\kappa$ B 活性化抑制機序: Protein kinase C による調節. 第 45 回日本肝臓学会総会 2009. 6. 4-5 神戸. 肝臓 50 Supplement (1): A171 (0-95), 2009
28. Ozaki I, Hamajima H, Iwane S, Xia J, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsushashi S, Mizuta T. Modulation of transforming growth factor- $\beta$  1-induced Smad phosphorylation by extracellular matrix receptor  $\beta$  1-integrin leads to epithelial-to-mesenchymal transitions of hepatoma cells. AASLD 60th The Liver Meeting 2009. 2009. 10. 30-11. 3 Boston, MA. Hepatology 50(4): suppl 621A(672), 2009
29. 尾崎岩太, 武富弥栄子, 塚本祐子, 木道圭子, 福島雅子, 永渕久子, 佐藤武. 佐賀大学新入生における感染症抗体価の推移. 第 47 回全国大学保健管理研究集会. 2009. 9. 16-17 (札幌) Campus Health 2009; 46(3): 67.
30. 尾崎岩太, 夏京合, 浜島弘史, 岩根紳治, 松橋幸子, 河口康典, 江口有一郎, 水田敏彦. Vitamin K2 の NF- $\kappa$ B 抑制における Protein kinase C (PKC) の役割. Vitamin K & Aging 研究会 2009. 2. 14 東京
31. Takahashi H, Mizuta T, Kuwashiro T, Oeda S, Ooza N, Hamajima H, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Ozaki I, Fujimoto K. Glucose intolerance is an independent risk factor for development of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C. ILCA' s Third Annual Conference 2009. 9. 4-6 Milano, Italy. Books of abstract: p8 (0-007)
32. 高橋宏和, 水田敏彦, 桑代卓也, 大座紀子, 河口康典, 岩根紳治, 松延亜紀, 尾崎岩太, 藤本一眞. C 型慢性肝炎に対する PEG-IFN 製剤投与中における ALT 持続異常例の病理学的検討. 第 45 回日本肝臓学会総会 2009. 6. 4-5 神戸肝臓 50 Supplement (1): A141 (0-36), 2009
33. 田中格子, 桑代卓也, 河口康典, 大枝敏, 大座紀子, 江口有一郎, 尾崎岩太, 水田敏彦, 藤本一眞. 自己免疫性肝炎の経過中に発症した薬物性肝障害の 1 例. 第 286 回日本内科学会九州地方会(消化器 1. 124) 2009. 8. 22 鹿児島
34. Xia J, Matsushashi S, Zhang H, Ide Y, Mizuta T, Fujimoto K, Ozaki I. Involvement of PKC-activating NF- $\kappa$ B pathway inhibition in the hepatocellular carcinoma growth suppression by menatetrenone, a vitamin K2 analogue. BIT Life Sciences' 2nd Annual World Cancer Congress 2009 2009. 6. 22-25 Beijing Poster:533, 2009

35. 夏京合, 松橋幸子, Zhang H, 岩根紳治, 浜島弘史, 水田敏彦, 藤本一眞, 尾崎岩太. Menatetrenone, a vitamin K2 analogue inhibits NF- $\kappa$ B activation via the inhibition of PKC activation in human hepatocellular carcinoma cells. 第 32 回日本分子生物学会年会 2009. 12. 9-12 横浜. プログラム p723 (3P-0489)

#### 科学研究費補助金など

1. 平成 20 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 「自殺予防教育の一環としての幼年版 Death Education Program」 (研究分担者: 佐藤 武) (継続)
2. 平成 20 年度厚生労働科学研究費 「印刷教材と携帯電話フィードバックシステムを用いた食生活の改善及び運動指導プログラムの開発に関する研究 (21180401) (研究分担者: 佐藤 武) (新規: 3 年計画)
3. 研究題目: 佐賀県肝疾患検診による慢性肝疾患追跡調査研究及び C 型肝炎に関する普及啓発推進事業 (J090200015) 受託研究費 ¥591,000

保健管理センターは本来、厚生福利施設ではあるが、上記のように、かなり積極的に研究業績を作り上げ、十分な評価に耐えられるものである。特に、不足という問題はみられない。

## Ⅳ－Ⅰ 国際交流及び社会連携・貢献に関する状況と自己評価

保健管理センターでは、地域の方々から、講演を依頼されることが多々ある。時間の許す範囲で、できるだけ、フィジカルおよびメンタルに関する社会連携・貢献を果たしている。その内容を以下に列記する。

### 本庄キャンパス（佐藤・木道）：

#### 講演

1. 佐藤 武：片頭痛について。NBC ラジオ、平成 21 年 4 月 23 日、佐賀。
2. 佐藤 武：日本抑鬱症的現状と存在問題。中国長春中医薬大学附属医院。平成 21 年 4 月 30 日、長春、中国吉林省。
3. 佐藤 武：心の健康とうつ病。平成 21 年度唐津市民生・児童委員連絡協議会総会、唐津市文化体育館、平成 21 年 5 月 19 日、唐津。
4. 佐藤 武：中国横断の旅 8 日間～上海、長春、鄭州、西安～。NBC ラジオ。平成 21 年 6 月 3 日、佐賀。
5. 佐藤 武：農学部学生はなぜ心理相談が増加しているのか？農学部教授会後 F D フォーラム、佐賀大学、平成 21 年 6 月 10 日、佐賀。
6. 佐藤 武：管理監督者としてのメンタルヘルス について。佐賀県警本部講演会、平成 21 年 6 月 11 日、佐賀。
7. 佐藤 武：ライフサイクルとその援助 3（中高年のメンタルヘルス）。いのちの電話講習会、メートプラザ佐賀、平成 21 年 6 月 27 日、佐賀。
8. 佐藤 武：ストレス社会でのリラクゼーション。平成 21 年度佐賀県学校保健会、佐賀市立図書館、平成 21 年 7 月 3 日、佐賀。
9. 佐藤 武：思春期の健康な精神と家族関係。龍谷中学高校父兄会、平成 21 年 7 月 4 日、佐賀。
10. 佐藤 武：新型インフルエンザの現状と今後。NBC ラジオ、平成 21 年 7 月 16 日、佐賀。
11. 佐藤 武：ストレス社会を生き抜くには？平成 21 年度佐賀大学フォローアップ研修、平成 21 年 7 月 21 日、佐賀。
12. 佐藤 武：うつ病の基本的理解のために。いのちの電話公開講座。アバンセ、平成 21 年 7 月 22 日、佐賀。
13. 佐藤 武：現代学生にみる集団力低下の要因とその対策。第 67 回人工頭脳工学研究会、佐賀大学、平成 21 年 7 月 23 日、佐賀。
14. 佐藤 武：うつ病の基本的理解のために。いのちの電話公開講座。メートプラザ、平成 21 年 8 月 8 日、佐賀。
15. 佐藤 武：留学生カウンセリング。これからの日本語評価と留学生に対するカウンセリング。サンメッセ鳥栖、平成 21 年 8 月 9 日、鳥栖。
16. 佐藤 武：人間関係と「うつ」（予防・早期発見・早期治療のコツ。県立中原養護学校、平成 21 年 8 月 25 日、三養基。
17. 佐藤 武：ライフサイクルとその援助 3（中高年のメンタルヘルス）。いのちの電話公開講座。ア

バンセ、平成 21 年 8 月 26 日、佐賀.

18. 佐藤 武：新型インフルエンザと「なぜ運動が必要なのか?」. NBC ラジオ、平成 21 年 8 月 26 日、佐賀.
19. 佐藤 武：職場のストレスに関する調査結果. 県立鳥栖工業高校、平成 21 年 9 月 4 日、鳥栖.
20. 佐藤 武：職場のストレスに関する調査結果. 県立伊万里高校、平成 21 年 9 月 9 日、伊万里.
21. 佐藤 武：慢性疼痛の心理的問題. 佐賀社会保険病院、平成 21 年 9 月 9 日、佐賀.
22. 佐藤 武：笑いがもたらす効果. 開成公民館、平成 21 年 9 月 10 日、佐賀.
23. 佐藤 武：職場のストレスに関する調査結果. 県立厳木高校、平成 21 年 9 月 11 日、唐津.
24. 佐藤 武：集団力の低下がなぜ生じているのか? 人間関係の希薄化および個人主義について. NBC ラジオ、平成 21 年 9 月 24 日、佐賀.
25. 佐藤 武：高校における教職員のメンタルヘルス. 県立三養基高校、平成 21 年 10 月 7 日、三養基.
26. 佐藤 武：職場のストレスに関するディスカッション. 県立鳥栖工業高校、平成 21 年 10 月 15 日、鳥栖.
27. 佐藤 武：学習アドバイザーのための基礎知識. 学習アドバイザー講習会、平成 21 年 10 月 16 日、佐賀大学、佐賀.
28. 佐藤 武：職場におけるメンタルヘルス～疲労蓄積度チェックリストの解析から～. 平成 21 年度九州地区国立大学法人等テーマ別研修、平成 21 年 10 月 22 日、佐賀大学、佐賀.
29. 佐藤 武：人間関係力の醸成：希薄化する大学生の人間関係. 九州地区大学メンタルヘルス研究協議会、平成 21 年 10 月 20 日、21 日、長崎大学、長崎.
30. 佐藤 武：健康・生活支援アドバイザーのための基礎知識. 健康・生活支援アドバイザー講習会、平成 21 年 10 月 30 日、佐賀大学、佐賀.
31. 佐藤 武：学習アドバイザーのための基礎知識. 学習アドバイザー講習会、平成 21 年 11 月 2 日、佐賀大学、佐賀.
32. 佐藤 武：心理相談からみた現代の大学生の問題と対応について. 文化教育学部教授会後人権問題講演、平成 21 年 11 月 11 日、佐賀大学、佐賀.
33. 佐藤 武：自殺予防と対策について. 武雄市民生委員会講習会、平成 21 年 11 月 12 日、武雄.
34. 佐藤 武：こころアレルギーー人間関係免疫力の低下ー. 2009 年度図書館月間講演会、平成 21 年 11 月 17 日、佐賀大学附属図書館、佐賀.
35. 佐藤 武：職場におけるメンタルヘルス. 平成 21 年 11 月 16 日、城西中学校、佐賀.
36. 佐藤 武：ロコモティブシンドローム. NBC ラジオ、平成 21 年 11 月 19 日、佐賀.
37. 佐藤 武：ロコモティブシンドローム. 佐賀大学健康教室エアロビクス、平成 21 年 11 月 20 日、佐賀大学、佐賀.
38. 佐藤 武：自らのストレスを知る. 佐賀大学医学部附属病院・副看護師長研修、平成 21 年 11 月 24 日、佐賀大学医学部、佐賀.
39. 佐藤 武：職場におけるメンタル・ヘルス. 県立佐賀北高等学校、平成 21 年 11 月 26 日、佐賀.
40. 佐藤 武：職場におけるメンタル・ヘルス. 県立鳥栖工業高校、平成 21 年 12 月 2 日、鳥栖.
41. 佐藤 武：現代の学生気質～ハラスメントの予防のために～. 佐賀大学理工学部教授会、平成 21 年 12 月 9 日、佐賀.
42. 佐藤 武：ストレス・タイム・マネジメント. 佐賀県看護協会、平成 21 年 12 月 18 日、佐賀.
43. 佐藤 武：職場におけるメンタルヘルス. 神崎市立神埼小学校、平成 21 年 12 月 25 日、佐賀.

44. 佐藤 武：うつ病解消へ 人間関係免疫力アップと運動を！」第 39 回唐津地区精神保健福祉大会「ひまわりフェスタ」。唐津市文化体育館、平成 22 年 1 月 28 日、唐津。
45. 佐藤 武：便所飯。NBC ラジオ、平成 22 年 2 月 4 日、佐賀。
46. 佐藤 武：看護者におけるストレスとうつ。平成 21 年度 佐賀県看護協会西部地区支部研修会、武雄杵島地区医師会館、平成 22 年 2 月 6 日、武雄。
47. 佐藤 武：自死遺族の心理特性、事件捜査（自殺に関わる）の上で留意しておく事項。自死遺族支援研修会、佐賀県警察学校、平成 22 年 2 月 9 日、佐賀。
48. 佐藤 武：発達障害の理解のために。佐賀大学、平成 22 年 2 月 15 日、佐賀。

#### 市民活動（佐藤）：

1. 郭 偉、伊藤奈々、佐藤 武：「メタボ・うつ解消！パワーエアロビクス」（3ヶ月コース）。佐賀新聞文化セミナー（平成 21 年 4 月 1 日～同年 6 月 30 日）、佐賀。
2. 郭 偉、伊藤奈々、佐藤 武：「メタボ・うつ解消！パワーエアロビクス（3ヶ月コース）」。佐賀新聞文化セミナー（平成 21 年 7 月 1 日～同年 9 月 30 日）、佐賀。
3. 郭 偉、伊藤奈々、佐藤 武：「メタボ・うつ解消！パワーエアロビクス」（3ヶ月コース）。佐賀新聞文化セミナー（平成 21 年 10 月 1 日～同年 12 月 31 日）、佐賀。
4. 郭 偉、伊藤奈々、佐藤 武：「メタボ・ロコモ・うつ解消！パワーエアロビクス」（3ヶ月コース）。佐賀新聞文化セミナー（平成 22 年 1 月 1 日～同年 3 月 31 日）、佐賀。
5. 佐藤 武：ストレスケア講座～うつってうつる？～（3ヶ月コース）。佐賀新聞文化セミナー（平成 22 年 1 月 1 日～同年 3 月 31 日）、佐賀。

#### 鍋島キャンパス（尾崎）：

1. 尾崎岩太。佐賀県の肝がん撲滅を目指して～肝検診をインターフェロン治療につなげるために。佐賀県地域保健福祉従事者研修会 2009. 1. 13 佐賀県庁（佐賀市）。
2. 尾崎岩太。佐賀県における肝炎ウイルス感染と肝臓：現状と対策。日本医師会生涯教育協力講座 ウイルス感染症における予防と対策 ウイルス感染症の予防と制圧は可能か？ 2009. 2. 21. 成人病予防センター（佐賀市）。
3. 尾崎岩太。ウイルス肝炎治療を支える医療スタッフの役割。佐賀中部保健福祉事務所ウイルス肝炎治療従事者研修会 2009. 2. 28 県立総合看護学院（佐賀市）。
4. 尾崎岩太。佐賀県における肝疾患対策：検診からインターフェロン治療へ。鳥栖三養基医師会学術講演会 2009. 3. 16. マリアージュホテルビアントス（鳥栖市）。
5. 尾崎岩太。佐賀県における肝炎治療費助成制度 2009. 佐賀県医師会学術講演会。2009. 4. 17. 成人病予防センター（佐賀市）。
6. 尾崎岩太。佐賀県の肝炎・肝がんの現状と今後の予測。佐賀県県民公開講座：もっと知ろう、肝臓病のこと-肝炎・肝がんを克服するために- 2009. 5. 31. アバンセ（佐賀市）。
7. 尾崎岩太。肝がんの予防と早期発見。がん予防推進員養成講座 2009. 7. 25. 鳥栖市市民文化会館（鳥栖市）。
8. 尾崎岩太。メタボと生活習慣病。平成 21 年度佐賀大学リーダー研修会 2009. 7. 30. 佐賀大学夢の実会館（佐賀市）。
9. 尾崎岩太。学校における疾病予防と保健管理。平成 21 年度教員免許状更新講習会 2009. 8. 29. 佐

賀大学医学部（佐賀市）。

10. 尾崎岩太. エイズ/HIV 講演会 生（命）と性・男と女：知っておいてほしいこと. 2009.10.22 三養基高校（鳥栖市）
11. 尾崎岩太. エイズ/HIV 講演会 生（命）と性・男と女：知っておいてほしいこと. 2009.10.28. 佐賀工業高校（佐賀市）
12. 尾崎岩太. 新型インフルエンザ. 平成 21 年度サークルリーダーシップセミナー 2009.11.25 佐賀大学医学部（佐賀市）。

この領域も日々の多忙な業務の中、地域の要請にできるだけ答えるように努力し、その成果は得られていると思われる。

## V-I 組織運営・施設・その他部局の重要な取組に関する状況と自己評価

佐賀大学における学内の各種委員会に積極的に参加し、学内の学生および教職の問題点に保健管理センターとして、意見を述べている。それぞれの教員の参加している委員会を列記する。

佐藤 武：

保健管理センター運営委員会（委員長）・労働安全衛生委員会（委員長）・学生モニター会議委員・入試委員会・学生委員会（オブザーバー）・大学教育委員会（オブザーバー）・教育室会議委員・遺伝子組換え実験安全委員会・医学部研究科委員会・産業医・附属中学校保健委員・附属特別支援学校保健委員・施設協議会委員

尾崎岩太：

佐賀大学環境安全衛生管理室員・佐賀大学安全衛生管理委員会・佐賀大学医学部安全衛生委員会・佐賀大学医学部教育委員会（オブザーバー）・佐賀大学ハラスメント等相談委員・佐賀大学動物実験委員会・佐賀大学医学部附属病院放射線障害防止委員会・佐賀大学医学部及び附属病院エコアクション 21 委員会・佐賀大学医学部附属病院社会保険委員会・佐賀大学医学部入学試験委員会総合問題部会・佐賀大学医学部附属病院感制御部会議・佐賀大学ハラスメント相談員・佐賀大学鍋島事業場産業医

木道圭子：

保健管理センター運営委員会（委員）、本庄地区労働安全衛生委員会（委員、産業医）、本庄地区産業医、ハラスメント相談員

この領域においても、各種委員会に可能な限り出席しており、十分な役割を果たしているといえる。